

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		物産振興事業		担当課	商工振興課	担当係	観光物産係	管理番号	3732	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等					
	小項目	2	観光資源の整備と活用							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本市の友好都市やその他、県内外で開催されるまつりやイベントなどに参加し、深谷市の物産のPRや販売を行っている。								
目的 ※何のために		市物産品のPRを図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		他市町村住民、消費者及び民間団体								
手段 ※どのように		県内外の市町村開催のまつり・イベントへの参加、煮ぼうとうマップの作成、地場産業振興のためのPR								
成果 ※何を求めるか		市物産品を広くPRすることができる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 関係諸団体 )								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	物産振興事業	580,643
本事業の 主な業務		・ 県内外の物産イベントへの参加							・	
		・ 市産業祭での物産イベントの開催							・	
		・ 煮ぼうとうのPR							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		県内外のイベントへの参加、煮ぼうとうのぼり旗の作製、市産業祭での物産イベントの開催	県内外のイベントへの参加、市産業祭での物産イベントの開催、煮ぼうとうのPR	県内外のイベントへの参加、市産業祭での物産イベントの開催、煮ぼうとうのPR	県内外のイベントへの参加、市産業祭での物産イベントの開催、煮ぼうとうのPR	県内外のイベントへの参加、市産業祭での物産イベントの開催、煮ぼうとうのPR	県内外のイベントへの参加、市産業祭での物産イベントの開催、煮ぼうとうのPR
事業費	予算(現額)	823,000	810,000	759,000	370,000	720,000	4,117,000
	決算額	688,747	31,021	532,484	166,347	580,643	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	688,747	31,021	532,484	166,347	580,643	4,117,000
人件費	従事職員数(人)	0.88	0.73	0.62	0.70	0.60	0.70
	人件費相当試算※	6,845,520	5,680,860	5,025,100	4,881,600	4,657,149	5,691,944
総事業費試算		7,534,267	5,711,881	5,557,584	5,047,947	5,237,792	9,808,944

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	イベント等での物産品のPR 延べ日数	目標値	日							
		実績値		21	14	12	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度毎にイベント数が増えるため目標値を設定できない。 / 当該年度末日実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	イベント等における物産の売 上額	目標値	千円							
		実績値		613.85	791.89	374.6	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度毎にイベント数が増えるため目標値を設定できない。 / 当該年度末日実績（観光協会）							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントなどがすべて中止となったことから、イベントでの物産品PRは行えなかった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、友好都市のイベントなどがすべて中止となったことから、売り上げはなかった。
			評価者 観光物産係長 飯塚 大悟

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントなどがすべて中止となったことから、効率性についても評価できない。
			評価者 観光物産係長 飯塚 大悟

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	物産振興事業	担当課	商工振興課	担当係	観光物産係	管理番号	3732
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		評価の内容説明					
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントなどがすべて中止となったことから、イベントでの物産品PRは行えなかった。 今後、イベント再開の時期が来たら、新型コロナウイルス感染拡大に努めながら、ふかや物産観光や深谷商工会議所、ふかや市商工会、観光協会、武州煮ぼうと研究会などと協力して事業展開し、深谷の魅力を市外に発信していく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	商工振興課長 岩田 展雄				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

